



体験活動で人間力を磨く

生涯学習課長 後藤 寿代

子供の頃の多様な体験は、青少年の豊かな心や人間性等を育むだけでなく、将来、社会を生き抜くために自立した大人としての資質能力を培う基盤になるといわれています。また、失敗を恐れず、何事にも意欲的に取り組み、前向きに生きていける力を身につけることにも繋がります。

国立青少年教育振興機構が平成29年に小4～小6、中2、高2の児童生徒に実施した「青少年の体験活動等に関する意識調査」では、「どのような体験をしたか」という質問に、「海や川で泳いだこと」が「何度もある」と回答した人は54.5%、「チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと」は48.3%、「海や川で貝を採ったり、魚を釣ったりしたこと」は39.0%、「大きな木に登ったこと」は28.4%となっています。

かつては身近なこととして経験されてきたことが、今ではその機会や場を提供しないと難しい特別なことになってきています。生涯学習課では、昨年度は、小学校4～6年生を対象に、戸田の「ゆめとびら舟山」で体験塾を開催しました。コロナ禍であっても子供たちの活動意欲は高く、予想を上回る応募がありました。残念ながら、宿泊はできませんでしたが、高校生をリーダーとする班に分かれて、カレーづくり、ツリーイング、木工クラフトと中身の濃い体験をしました。高校生にとっても小学生と関わって貴重な体験となりました。便利な日常から離れて、不便なことを仲間と協力して解決し、自信を深めたことと思います。自信は、自己の存在や価値を肯定的に評価できる自己肯定感を高めます。体験活動は、人生の基盤となる「社会を生き抜く力」を養成するために必要なことであり、人づくりの「原点」でもあります。その機会を創出することが私たちに課された使命です。

沼津市は、新たな教育基本構想の柱である、「人間力を磨く」教育の一環として、体験活動を今後も推進してまいります。

子供たちが、のびのびと、自由に活動できる時が早く来るよう、新型コロナウイルス感染症の収束を祈るばかりです。

コロナ禍の学校

沼津市立愛鷹中学校長 横山尚博

3月19日、修了式を終え帰宅すると、テレビから選抜高校野球大会(春の甲子園)開会式のニュースが流れていた。私は、抱えていた荷物を下ろすことなく、仙台育英学園高等学校の島貴主将の選手宣誓に釘づけになった。

【宣誓】今日ここに、高校球児の憧れの舞台である甲子園が戻ってきました。

この1年、日本や世界中に多くの困難があり、それぞれが大切な多くのものを失いました。答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことでした。しかし、同時に多くのことを学びました。当たり前だと思う日常は、誰かの努力や協力で成り立っているということです。

《感謝》ありがとうございます。これは出場校全ての選手、全国の高校球児の思いです。

《感動》喜びを分かち合える仲間と共に、甲子園で野球ができることに感動しています。

《希望》失った過去を未来に求めて、希望を語り、実現する世の中に。

そして、この3月で東日本大震災から10年となりました。日本、世界中に多くの協力や支援をいただき、仲間を支えられながら困難を乗り越え、10年前、あの日見た光景から想像できないほどの希望の未来に復興が進んでいます。これからの10年、私たちが新しい日本の力になれるように歩み続けます。

春は選抜から。穏やかで鮮やかな春、そして一年となりますように。

2年分の甲子園、一投一打に多くの思いを込めてプレーすることを誓います。

【以上が宣誓の全文であり、これは新聞や雑誌にも取り上げられ話題となった。】

午前中の修了式の中で、現2・3年生の代表生徒が、昨年度の一年間を振り返り、本年度に向けた決意を語った。現状を冷静に見据え、制限がある中でも、自分や自分たちができることをきちんと持ち、夢を追いかけるための目標が心の真ん中にあった。

コロナ禍の日々、学校は安全を第一に考え、その中で可能な限り子供たちが達成感や満足感を得られるように、教育計画を何度も何度も組み替えてきた。今まで当たり前のようにできていたことが、ことごとく打ち崩され、辛く悔しい思いに苛まれてきたが、子供たちの素晴らしい姿、大きな成長を強く感じる事ができた一年間でもあった。

今までも子供たちと一緒に考えてきた学校行事を、今まで以上に子供たちと対話しながら決め実行してきた。「これは駄目だけど、ここからは考える余地がある。そうであれば全校生徒が、ある程度納得して進むためには、どんなやり方がよりベターなのか。」合唱コンクールや体育祭、3年生激励会や卒業生を送る会、生徒総会や集会の持ち方を議論し、子供たちが主体的に企画運営した。愛媛県からスタートしたシトラスリボンプロジェクトも、生徒会が主導して、趣旨に賛同する生徒がリボンを作成し、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の防止運動を推進した。中学校生徒会と小学校児童会が、互いに行き来ができない中、ZOOMを使ったリモート会議でシトラスリボンプロジェクトについて意見交換でき、合同で進める事ができたことは画期的であった。

しなやかに考え、やってみよう、やってやろうという子供たちの姿勢に逆に励まされ、伸びるための支え方を考える日々であったが、そんな温かいやり取りと距離感が、コロナ禍の中でも大きな自信となった。まだまだ、終わりは見えないが、逆境にもめげず懸命に生きる子供たちを応援し続けたいと思う。

面接相談



◎非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など
 青少年に関する面接相談
 ◎相談および申し込み受付時間：
 午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）
 ◎相談申し込み：Tel.951-3440

令和3年4・5・6月の状況

各月の新規の相談件数、相談ケース数、相談回数は以下のとおりでした。

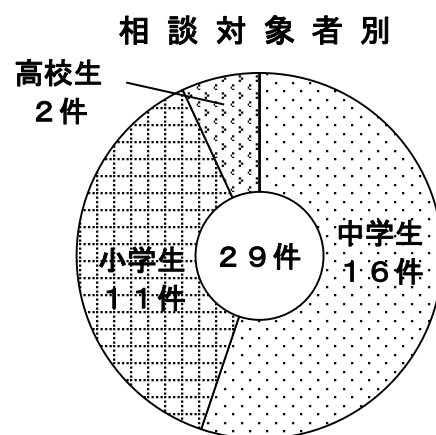
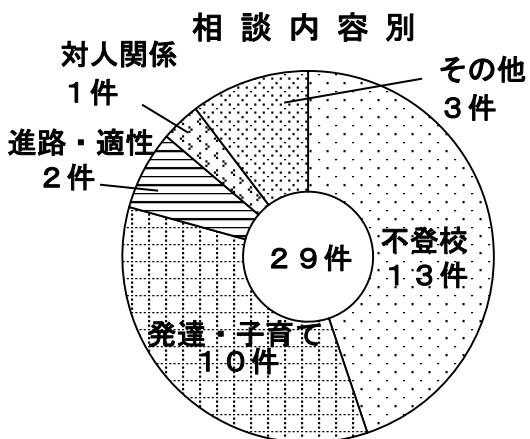
1 各月の新規相談件数（相談内容別）

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
4月	0	2	2	1	0	1	6
5月	0	1	1	1	0	1	4
6月	0	10	7	0	1	1	19

2 各月の新規相談件数（相談対象者別）

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	一般成人	合計
4月	0	2	3	1	0	0	6
5月	0	1	3	0	0	0	4
6月	0	8	10	1	0	0	19

3 今年度の新規相談受付状況



4 4月から6月までの相談ケース数

※年度における相談者1人を相談1ケースとする

	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
男	0	28	18	0	2	1	49
女	0	21	3	2	2	2	30
合計	0	49	21	2	4	3	79

5 4月から6月までの延べ相談回数

	面接	訪問	合計
男	333	0	333
女	189	0	189
合計	522	0	522

6 はばたき活動の様子

- 5/12（水）点をつないでみよう（8人）
- 5/26（水）びゅうおに行こう（8人）
- 6/16（水）狩野川散策（8人）

はばたき活動は、1対1の面接相談とは違い、他の通所生や担当以外の職員とも関わる小集団活動です。今年度も、新型コロナウイルスの感染予防を徹底しながら、できる範囲で実施しています。

「点をつないでみよう」では、同じ場所で同じ活動をするという体験をし、作品を通して人と関わることができました。

「びゅうおに行こう」では、沼津観光ボランティアガイドの方から、



びゅうおの防災に関する役割とふるさとのすばらしい景色について、お話をさせていただきました。

「狩野川散策」では、沼津城本丸跡や沼津兵学校記念碑、近代的小学校発祥の地なども、見学しました。

7 相談指導学級の様子

相談指導学級は、月曜日から金曜日までの午前10時から午後3時まで開級しています。子供たちが予め計画を立て、自分で決めた活動を希望する時間に自主的に行い、2人の学級担当がそれを支援しています。1日の活動は午前午後2コマずつ設定されており、1コマは45分間です。1コマずつの活動の間に休憩を設け、児童生徒が無理せず活動するように配慮しています。また、週に1度のスポーツ活動は4階の体育室で行い、月に数回の体験活動があり、希望者が参加しています。

7月1日時点の通級生は4人（中学3年生1人、中学2年生2人、小学5年生1人）です。子供たちは、週1～3回出席し、学習室で、漢字ドリルや計算ドリルに取り組んだり、数学などの問題集に取り組んだり、iPadで学習動画を見たりしています。静かで落ち着いた環境で学習に取り組むことができ、勉強がはかどると言う子供もいます。1学期の体験活動は、創作活動（点つなぎ、パズル塗り絵、紙粘土工作）、ウォーキング（近隣の公園）を行いました。

年度が始まったばかりなので、まだ通級生同士のコミュニケーションは深まっていません。そこで、体験活動や休憩時間を通して子供たち同士の交流を図り、楽しく、不安なく生活できるように配慮しています。



電話相談

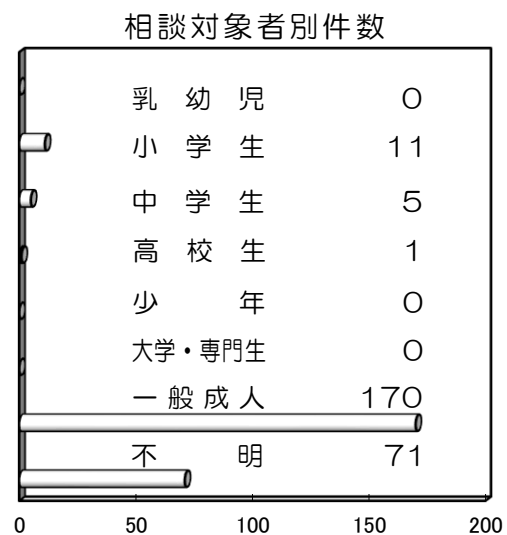
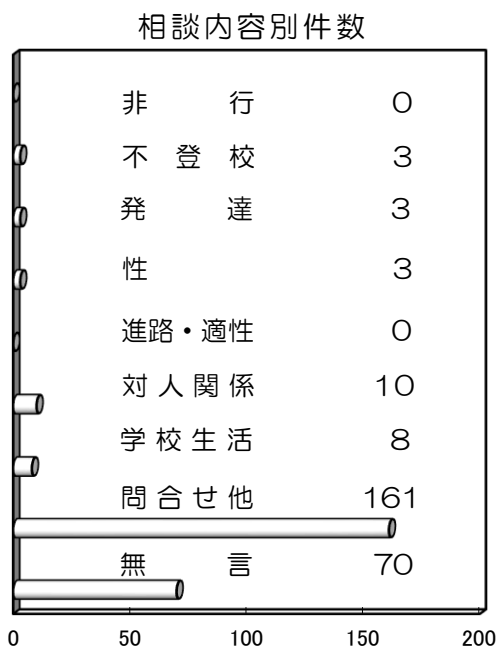


◎非行・不登校・発達・進路・対人関係など青少年に関する相談。
 ◎相談時間：
 午前10時～午後7時 月～金曜日(祝祭日を除く)
 ◎愛称：やまびこ電話 951-7330

令和3年4・5・6月の状況

4月には72件、5月には76件、6月には110件の相談が寄せられました。
 (前年4月：370件、前年5月：318件、前年6月：334件)

1 4・5・6月の相談状況



2 令和3年度の電話相談受信件数状況

総件数 258件 (前年同期1,022件)

(1) 相談内容別

	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言
件数	0	3	3	3	0	10	8	161	70

(2) 相談対象者別

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専門生	一般成人	不明
件数	0	11	5	1	0	0	170	71

令和3年度の補導について

青少年教育センター 前田 友子

沼津市補導委員会は、市立小中学校と市内の高校（沼津商業高校を含む）から推薦される教員補導委員と、18地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦される少年補導委員により構成されています。補導活動は、センターが主催する火曜日14時30分、水曜日16時、金曜日19時からの中央街頭補導と、地区の「青少年を健やかに育てる会」が主催する地区補導、そのほか特別補導として沼津夏まつり補導や県内一斉少年補導などにご協力いただいております。

令和3年4月に、内浦小学校、西浦小学校、長井崎中学校の3校と、戸田小学校、戸田中学校の2校が統合され、それぞれ長井崎小中一貫学校、戸田小中一貫学校へ変わり、教員の少年補導委員が3名減の62名になりました。各地区の「青少年を健やかに育てる会」推薦の少年補導委員は228名です。今年度もこの290名の皆さまのお力をお借りして、沼津市の青少年健全育成を推進していきます。

ところで毎年7月は「青少年の非行・被害防止強調月間」です。昨今の少年非行・被害の状況を見ると、万引きなどの窃盗が減少する一方、児童買春・児童ポルノ禁止法違反によるものが増加しています。携帯電話の普及とともに、インターネットを通じた犯罪に巻き込まれたりトラブルにあったりするケースも見受けられます。静岡県は運動期間中の重点課題として、「インターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止」を第一に掲げています。子供を犯罪被害から守る環境をつくることは、私たち大人の責務です。家庭・学校・地域が一丸となって、子供が安全に育っていける環境を築いていきましょう。これからも、青少年の健全育成にご協力をよろしくお願いいたします。

1 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況（4・5・6月）

	参加人数						回数				状況	
	市職員	教員	補導委員	地区代表	警察	補導委員区	計	午前	午後	夜間	計	の不良行為等 確認
4月	5	5	9	0	161	180	0	5	18	23	18	99
5月	0	0	0	0	191	191	0	6	26	32	0	13
6月	4	4	2	1	228	239	0	9	32	41	16	44
合計	9	9	11	1	580	610	0	22	77	99	34	156

*新型コロナウイルス感染症対策のため、5月18日から6月23日までの中央街頭補導を中止しました。また、同期間、地区補導を中止した地区もありました。

2 4・5・6月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

令和3年度になっても新型コロナウイルス感染の猛威は収まらず、街は外出自粛ムード一色です。駅周辺はもちろん、各地域でも見かける青少年の数はほとんどいないというのが現状です。それでも、6月25日（金）に、静岡県警の警戒レベルが「4」に下がったこともあり、6月29日（火）から中央街頭補導を再開することができました。積極的に声掛けをして、青少年にとって安心・安全な環境作りに努めていきたいと思いをします。

学 職 別 区 分		性別	小学生	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	計
行 為 種 別	飲 酒	男							0
		女							0
	喫 煙	男							0
		女							0
	薬 物 乱 用	男							0
		女							0
	夜 間 は い か い	男							0
		女							0
	不 良 交 友	男							0
		女							0
	怠 学 ・ 怠 業	男							0
		女							0
	ゲームセンター入場	男		2	4				6
		女			22				22
パチンコ店入場	男							0	
	女							0	
カラオケ店入場	男			3				3	
	女							0	
自転車の暴走行為	男							0	
	女							0	
自転車の二人乗り	男							0	
	女							0	
自転車の無灯火	男		1	2				3	
	女							0	
危 険 な 遊 び	男							0	
	女							0	
そ の 他	男							0	
	女							0	
計		男	0	3	9	0	0	0	12
		女	0	0	22	0	0	0	22
男 女 合 計			0	3	31	0	0	0	34

法令違反・ ぐ犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男							0
		女							0
	他 機 関	男							0
		女							0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0

※ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為

愛 の 声 か け 運 動	男	31	30	38				99
	女	13	12	32				57
男 女 合 計		44	42	70	0	0	0	156

情報コーナー

地域相談員をご利用ください

「沼津市青少年健全育成地域相談員」は、地域や学校が行う青少年育成に対する助言、援助を行うとともに、地域や家庭（青少年本人・家族・関係者等）からの教育相談に応じます。学校等、他機関の紹介も行いますので、いつでもお気軽にご相談ください。

《各地区の地域相談員》

地区	相談員氏名	電話番号	地区	相談員氏名	電話番号	地区	相談員氏名	電話番号
第一	澁谷 豊壽	952-4355	片浜	田村 昭	952-1332	愛鷹	市川 勝也	966-9311
	原 博男	951-0286		梶 祐造	963-9902		渡邊 義昭	966-1822
第二	菊地 昭夫	962-0280	金岡	山田 和夫	923-4743	大平	大村 久代	931-6994
	梅原 悦秀	963-5187		木内 和彦	925-2787		内田 卓雄	966-1631
第三	真野 文雄	932-8047	大岡	芝 厚	924-2776	原	鈴木 増蔵	966-0154
	水上 美鈴	933-2045		土肥 武信	962-6544		小林 篤	966-1379
第四	加藤 勝	932-2276	静浦	宮本 義昭	963-6314	浮島	森 雅宏	923-5853
	山田 健	934-3337		鈴木 順	931-2136		若松 春子	922-8889
第五	霞 恵介	922-8102	内浦西浦	奥村 顕祥	943-2003	今沢	栗田 自由	967-8073
	竹内 重延	922-1274					戸田	土屋 博文

青少年教育センターの活動予定（9・10月の主な活動）

※新型コロナや天候等の状況により、中止や延期、内容等の変更をすることがあります

相談指導学級体験活動		はばたき活動	
9月9日（木）	創作活動	9月10日（金）	ポッチャ
22日（水）	高沢公園に行こう （はばたきと合同）	22日（水）	高沢公園に行こう （学級と合同）
10月7日（木）	創作活動	10月5日（火）	チャレンジランキング
20日（水）	深海水族館に行こう （はばたきと合同）	20日（水）	深海水族館に行こう （学級と合同）
補 導 関 係			
9月10日（金）	補導委員会代表者会		

明るい子どもが育つまち

青少年健全育成
シンボルマーク

青少年健全育成都市宣言（昭和55年）



あいさつで ひろがる愛の輪 地域の輪

青少年を優しく温かい心で包み込むという思いから、
右側は笑顔、左側は手のひら、全体はハート（心）を表しています